

0名で天皇を担いで鳥取の方に逃げる（勿論調整済み）と云う計画を立て、「暗夜に一窓を開く」と言う表現であらわしている。更に徳川慶喜は幕府の軍艦で江戸に逃げ帰ったと言われているが、あの軍艦には当時の金で4万両の資金が積んであり、慶喜は薩長は金に困っているから、江戸までは速急には攻めて来ない。と判断しての行動であった、と聞いた次第。

又、薩長軍は会津城の攻撃でも突入後、天守閣に向かわずに裏の倉庫に向かい絹織物や生糸を奪い、小舟で横浜まで運び外国人と銃や弾薬と交換して、再び小舟で運んで戦った。この時の小舟の船頭が、終戦後にひそひそ話しとして話してくれたそうである。

更に大山元帥の話をすると、元帥はフランスに留学して明治9年に帰国しているのです、西南の役では官軍の立場で官軍の城山攻撃などに参加しておられる。城山の陥落後、元帥は隆盛の首実験に立会させられた。（隆盛とは従兄弟である）爾来元帥は、鹿児島には顔向け出来ぬと、死ぬまで一度も鹿児島に帰らなかつた？ と聞いた。

なお日露戦争後、明治天皇から大山元帥に内閣総理大臣にとの要請受けたが、「私は軍人であつて政治にはかかわりません」と断り続けて居られた。

## 「西郷どん」の放映で 「鳥羽・伏見の戦い」を 見て思うこと

日高 誠 陸士58

私は昭和41年に大山元帥の息子さんで大山柏さん（陸士22期）と元帥の墓参りに行った時に聞いた話であるが、慶応4年（明治元年）1月3日幕府の徳川勢に戦端をひらく鳥羽・伏見の戦いに際し、西郷は若し負けたらどうするか、と言う事を考えて、薩摩兵20